

訂正箇所		正誤区分	
特記仕様書 目次	誤	第2章 業務細部に関する事項	
		2-1 業務の概要	7
2-2 業務の内容		7	
2-3 適用すべき諸基準		7	
2-4 CIMモデルの活用		8	
2-5 S I C設計		8	
2-6 附帯工設計		11	
2-7 地盤解析検討		12	
2-8 施工計画検討		13	
2-9 舗装設計		13	
2-10 工事目的物別数量総括表		14	
2-11 設計打合せ		14	
2-12 交通費・日当・宿泊費		14	
2-13 成果品		15	
第3章 補足事項			
3-1 設計図書の変更及び追加について	16		
正	第2章 業務細部に関する事項		
	2-1 業務の概要	7	
	2-2 業務の内容	7	
	2-3 適用すべき諸基準	7	
	2-4 CIMモデルの活用	8	
	2-5 S I C設計	8	
	2-6 附帯工設計	11	
	2-7 地盤解析検討	13	
	2-8 施工計画検討	13	
	2-9 舗装設計	13	
	2-10 工事目的物別数量総括表	14	
	2-11 設計打合せ	14	
	2-12 交通費・日当・宿泊費	15	
	2-13 成果品	15	
第3章 補足事項			
3-1 設計図書の変更及び追加について	16		

訂正箇所		正誤区分																																													
特記仕様書 12頁 第2章業務細部に関する事項 2-6-5土留工設計	誤	<div style="border: 2px solid yellow; padding: 10px;"> <p>2-6-5 土留工設計</p> <p>土留工設計とは、ボックスカルバート施工時の土留工設計を行うもので、本業務における設計内容と位置は、下記のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">種別</th> <th style="width: 40%;">設計位置</th> <th style="width: 10%;">箇所数</th> <th style="width: 20%;">構造物種別</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">A</td> <td>東行き KP34.184 付近</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">土留工 (深さ 8 m以上)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>西行き KP34.184 付近</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Cランプ No.20 付近</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div>					種別	設計位置	箇所数	構造物種別	備考	A	東行き KP34.184 付近	1	土留工 (深さ 8 m以上)		西行き KP34.184 付近	1		Cランプ No.20 付近	1																										
	種別	設計位置	箇所数	構造物種別	備考																																										
A	東行き KP34.184 付近	1	土留工 (深さ 8 m以上)																																												
	西行き KP34.184 付近	1																																													
	Cランプ No.20 付近	1																																													
正	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p>2-6-5 土留工設計</p> <p>共通仕様書 5-5「附帯工設計」に土留工設計を追加する。</p> <p>土留工設計とは、ボックスカルバート等の施工に際して、工事実施に必要となる土留工の構造計算、図面作成、数量算出及び赤黄チェックを行うものである。</p> <p>本業務における設計内容と位置は、下記のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">種別</th> <th style="width: 40%;">設計位置</th> <th style="width: 10%;">箇所数</th> <th style="width: 20%;">構造物種別</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">A</td> <td>東行き KP34.184 付近</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">土留工 (深さ 8 m以上)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>西行き KP34.184 付近</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Cランプ No.20 付近</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>成果品一覧表は、下記のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">設計種別・項目</th> <th style="width: 30%;">成果品項目</th> <th style="width: 10%;">出力時の縮尺 (分の1)</th> <th style="width: 10%;">出力用紙 の大きさ</th> <th style="width: 5%;">尺度</th> <th style="width: 5%;">提出 部数</th> <th style="width: 35%;">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">土留工設計</td> <td>詳細設計図</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">A3</td> <td></td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計計算書</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">A4</td> <td></td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">製本</td> </tr> <tr> <td>数量計算書</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">A4</td> <td></td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">製本</td> </tr> </tbody> </table> </div>					種別	設計位置	箇所数	構造物種別	備考	A	東行き KP34.184 付近	1	土留工 (深さ 8 m以上)		西行き KP34.184 付近	1		Cランプ No.20 付近	1		設計種別・項目	成果品項目	出力時の縮尺 (分の1)	出力用紙 の大きさ	尺度	提出 部数	摘要	土留工設計	詳細設計図	-	A3		1		設計計算書	-	A4		1	製本	数量計算書	-	A4		1	製本
種別	設計位置	箇所数	構造物種別	備考																																											
A	東行き KP34.184 付近	1	土留工 (深さ 8 m以上)																																												
	西行き KP34.184 付近	1																																													
	Cランプ No.20 付近	1																																													
設計種別・項目	成果品項目	出力時の縮尺 (分の1)	出力用紙 の大きさ	尺度	提出 部数	摘要																																									
土留工設計	詳細設計図	-	A3		1																																										
	設計計算書	-	A4		1	製本																																									
	数量計算書	-	A4		1	製本																																									

訂正箇所	正誤区分										
<p>特記仕様書</p> <p>12頁 第2章業務細部に関する事項</p> <p>2-6-7設計協議説明用図面作成</p>	<p>2-6-7 設計協議説明用図面作成</p> <p>協議用資料作成の種別と設計内容は次のとおりとする。</p> <p>なお、作成にあたり作成枚数等が変更となる場合は、別途監督員と協議する。</p> <table border="1" data-bbox="424 291 1445 371"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>設計内容</th> <th>数量</th> <th>難易度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>概略工程</td> <td>1 枚</td> <td>簡易</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">誤</p>	種別	設計内容	数量	難易度	備考	A	概略工程	1 枚	簡易	
種別	設計内容	数量	難易度	備考							
A	概略工程	1 枚	簡易								
	<p>2-6-7 設計協議説明用図面作成</p> <p>協議用資料作成の種別と設計内容は次のとおりとする。</p> <p>なお、作成にあたり作成枚数等が変更となる場合は、別途監督員と協議する。</p> <table border="1" data-bbox="414 1276 1439 1357"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>設計内容</th> <th>数量</th> <th>難易度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>概略工程</td> <td>1 枚</td> <td>普通</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">正</p>	種別	設計内容	数量	難易度	備考	A	概略工程	1 枚	普通	
種別	設計内容	数量	難易度	備考							
A	概略工程	1 枚	普通								

訂正箇所	正誤区分																
<p>特記仕様書</p> <p>14頁 第2章業務細部に関する事項 2-9-3遮音壁等設置検討</p> <p>追記</p>	<p>2-9-3 遮音壁等設置検討</p> <p>遮音壁等設置検討とは、現況道路構造及びスマートインターチェンジ計画の道路騒音について、設計要領に基づき予測計算式を用いて騒音値を算出し、スマートインターチェンジ整備における遮音壁の種別及び設置位置範囲を決定するものをいう。</p> <p>(1) 遮音壁等設置検討の区分と内容は、下表のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="427 340 1445 483"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>遮音壁等設置検討A</td> <td>当該スマートIC設置において、現況遮音壁の機能復旧後の本線からの騒音予測に基づき、新たに必要となる遮音壁の種別及び設置位置範囲を決定するもの。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 騒音予測の検討箇所は下表のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="427 519 1445 629"> <thead> <tr> <th>検討位置</th> <th>数量</th> <th>検測単位</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西行き 34.2KP</td> <td>1</td> <td>ケース</td> <td>騒音予測1回</td> </tr> <tr> <td>東行き 34.2KP</td> <td>1</td> <td>ケース</td> <td>騒音予測1回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 遮音壁等設置検討の検測数量は、それぞれの検討条件（ケース）とする。</p> <p>(4) 設置検討の結果、当社の標準図集を適用できない場合は、別途監督員と協議する。</p>	区分	内容	遮音壁等設置検討A	当該スマートIC設置において、現況遮音壁の機能復旧後の本線からの騒音予測に基づき、新たに必要となる遮音壁の種別及び設置位置範囲を決定するもの。	検討位置	数量	検測単位	備考	西行き 34.2KP	1	ケース	騒音予測1回	東行き 34.2KP	1	ケース	騒音予測1回
区分	内容																
遮音壁等設置検討A	当該スマートIC設置において、現況遮音壁の機能復旧後の本線からの騒音予測に基づき、新たに必要となる遮音壁の種別及び設置位置範囲を決定するもの。																
検討位置	数量	検測単位	備考														
西行き 34.2KP	1	ケース	騒音予測1回														
東行き 34.2KP	1	ケース	騒音予測1回														